



に い が た

〈新春号〉

県電だより



「白鳥舞う冬の瓢湖」

撮影場所・撮影日／阿賀野市瓢湖 令和元年11月

【コメント】

旧水原町にある瓢湖は、冬の季節を告げに白鳥が飛来することで有名です。毎年11月のこえを聴くと、たくさんの白鳥が遠くシベリアの大地から、エサを求めて渡って来ます。

見物に訪れた多くの人たちは、愛らしいその姿を遠くから眺めるだけであたたかい気持ちになり、また、妖艶に舞うその姿に一時心を奪われてしまいます。

写真提供者／新潟県電気工事工業組合 新潟支部

三浦電機株式会社 小名 隆一 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目 次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 地域懇談会を開催	11
3. 第33回 電気工事業全国大会（北陸・石川大会）に参加！	12
4. 各種表彰	15
5. 各支部だより	18
6. 各青年部だより	20
7. 組合イントラネット（サイボウズ）ご利用のご案内	25
8. 認定電気工事従事者取得のご案内	26
9. 令和2年度 消防関係試験実施計画	27
10. 各種保険のお手続きのご案内	28
11. 組合員の異動・変更	30

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日 （年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101



年頭のご挨拶

2020 年 年頭のご挨拶

理 事 長
小 林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は天皇陛下の代替わりという、歴史の節目となる出来事があり、元号が平成から令和に改まりました。令和という新時代を迎えて、社会や私たちの身の回りで様々な変化が起きていますが、そのようななかで、あらためて、平成という時代の当工組の歩みを振り返ってみました。

始めに、主な収益事業について見てみれば、元年3月損害保険代理業、13年4月一般用電気工作物調査業務、17年11月引込線事業部業務、そして25年4月電気工事士免状交付等受託業務をそれぞれ開始いたしました。組合員の皆様の事業、業界の地位向上に資する事業、そして当工組の財政を支えている事業であり、まさに当工組事業の根幹をなす事業といえます。

次に、組合員数について見てみれば、元年度は1,026名でありましたが、7年度及び9年度には1,068名を数え、ピークを迎えました。それ以降は減少の一途をたどり、15年度から17年度に減少に歯止めをかけることを目的に「中小企業人材確保推進事業」を実施いたしましたが、平成30年度には816名まで減少いたしました。現在においても当工組にとって、組合員加入促進が最重要命題であるといえます。

続いて、主な出来事について見てみれば、4年9月、東北電力㈱と長期的な友好関係を構築するとともに、業界の声を反映していくことを趣旨として、取引先持株会である「新電工組共栄会」が発足いたしました。

6年度、「活路開拓ビジョン実現化事業」を実施し、今後早急に展開すべき各事業、並びに将来展望のなかで具現化が必要な事業等について取りまとめました。そして、当事業を受けて、これ以降に県内の各支部において引込線工事会社が設立されました。

7年8月、地方政治を担っておられる組合員議員の方々の後援ができる組織づくりを目的に、11名の議員の参加で「市町村議会議員協議会」が発足いたしました。

14年度から、これまでの下請け構造からの脱却と、お客様の立場に立った営業を目的として、「提案型技術営業」を推進いたしました。

16年度から20年度、各支部引込線工事会社の電気工事技術の向上を図り、公衆保安の確保と施工品質の向上に資することを目的に、「引込線以下工事技能競技大会」を開催いたしました。

20年度から、組合組織強化対策の一端として、委員会活動の更なる活性化を図るため、委員会の統廃合や支部長推薦枠委員制度の導入を行いました、その結果、現在の常設事業委員会は、総務委員会、経営企画推進委員会、技術委員会、並びに引込線事業委員会となりました。

21年10月、当工組の地域・社会貢献事業の一環として、新潟県と「災害時の応援業務に関する協定」を締結いたしました。また、各支部でも支部管内市町村と防災協定の締結を進め、現時点で11支部と17市町村が協定を締結しています。

21年10月、全日電工連主催、東北七県連合会主管、当工組企画・運営による「第26回電気工事事業全国大会」が全国の組合員他約2,000名が参加して、新潟市で開催されました。また、こ

れに合わせて「技能競技大会東北プレ大会」が初の試みとして開催され、今日の「電気工事技能競技全国大会」に引き継がれております。

24年度から、安全について再確認し、無事故・無災害・ゼロ疾病の継続を目的に、「安全大会」を毎年度一回定期的に開催しております。

25年度から29年度、東日本大震災以降の省エネ意識の高まりのなかで、新潟県が創設した「新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金」の補助金交付団体として業務を行いました。

28年11月、県内に電工として働く女性をPRし紹介することで、電気工事業界のソフト化を図ることを目的として青年部が企画・実施した「新潟電工ガール」が、全国青年部優良活動発表で最優秀賞を受賞いたしました。

30年11月、全日電工連主催の「第3回電気工事技能競技全国大会」に出場した、小嶋一彦選手（本間電機工業㈱・三条支部）が、一般の部で全国の精鋭30名の頂点に立つ金賞・経済産業大臣賞を受賞いたしました。

先人たちの様々な取り組みを、これからの当工組事業の糧にと心に誓ったところであります。

さて、昨年10月に開催されました、全日電工連創立60周年記念「第33回電気工事業全国大会」において、当工組の「組合のIT化推進事業～組合イントラネット・WEB会議システムの導入～」が優良事業工組表彰で銀賞を受賞いたしました。当事業では、平成15年9月に組合イントラネット（サイボウズ）を導入し、本部・支部・組合員間のネットワークを構築し、各種会議開催案内・連絡・情報提供等に活用しております。また、ITを活用した事務の効率化を目的に、平成30年6月から県本部と13支部に「WEB会議」システムを導入し運用を始め、これにより会議等出席のための長時間に及ぶ移動時間や、拘束時間の緩和が図られました。

また、全国大会では電気工事関連法成立について報告があり、このなかで、昭和30年10月に発生した「新潟大火事件」では、台風の強風により破損した器具から漏電が発生し、火災に

至ったと推定されましたが、この漏電火災の原因が電気工事によるものとして、工事技術者が起訴され、禁固刑が求刑される状況となりました。この事件では、求刑理由に技術的に見て問題があり、今後規程を遵守して工事を行っても罪を問われる恐れがあり、この起訴は、電気工事技術者の危機感を高めることとなりました。このような状況のなかで、昭和33年に現在の全日電工連の母体となる全国組織が設立され、その後、昭和35年8月に「電気工事士法」が成立しました。

電気工事業界の歴史のなかで、あらためて身近な先人たちの苦難を知る機会となりました。

さて、今年の干支はねずみで、十二支の一番目にあたり、スタートの年といえます。電気工事業界を取り巻く様々な環境をマイナスとして捉えるのではなく、ビジネスチャンスとして取り組み、スタートの年にあたり、新たな決意のもとで、本年は次の事業に取り組んでまいり所存であります。

総務委員会では、「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を継続実施いたします。本事業も7年度目となり、保護者の見学も見受けられるなど、着実に事業の浸透が図られているものと考えられます。また、昨年度から取り組んでいる、受け入れ事業所の就労環境の整備に関しては、「電気工事業者のためのコンプライアンス強化研修会」並びに「雇用環境の整備に関するセミナー」を支部で開催するとともに、「モデル規則（労働契約・就業規則等）」を作成し、組合員の皆様に提供いたします。

また、昨年度実施した全日電工連「近未来ビジョン2016」、全日電工連青年部協議会「提言書2016」の検討を事業化して、本年度は「県内電気工事業界で働く女性のスキルアップ並びに活躍の場の提供を図り、もって業界の魅力向上に資する」ことを目的として、女性活躍のための事業について検討してまいります。

また、会員の減少傾向に歯止めがかからない「新電工組共栄会（持株会）」に関して、常務理事会で決議いただいた全支部加入率50%実現に向け

て、鋭意取り組んでまいります。

なお、運用開始3年度目となる「WEB 会議」に関しては、今後、組合員事業所や出先からの参加について検討を行い、更なる活用に取り組んでまいります。

経営企画推進委員会では、人材育成に関するセミナーとして、「電気工事士現場力レベルアップセミナー」について受講対象を明確にし、内容の見直しを図り、継続開催いたします。また、新たな取り組みとして、事務・間接部門の人材育成に関して、検討を行ってまいります。

また、昨年度開催した「電気工事業活性化懇談会」を発展的に継続させて、幅広い事業承継のあり方をテーマとしたセミナーや個別相談の開催に関して、検討を行ってまいります。

また、組合員事業所の事業領域の拡大のため、省エネ・創エネ・畜エネをはじめとした、時代の変化に即した新分野の調査研究に取り組んでまいります。

なお、福利厚生制度の更なる充実に関しては、第三者損害賠償制度の全組合員加入を目指して、未加入組合員の加入促進に取り組んでまいります。

技術委員会では、これまで継続して取り組んでまいりました内線工事における不良率低減の推進に関して、今年度は新たな取り組みとして、先進取組工組の事例を参考にさせていただき、「接地工事研修会」を各支部で展開してまいります。

また、「これからの現場管理者のための必携セミナー」に関して、セミナー後に実施したアンケートでの要望を踏まえ、内容について見直しを行うとともに、他委員会で開催するセミナーとの違いを明確にして、開催いたします。

また、引き続き、支部で開催する「低圧電気工事取扱特別教育」並びに「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」に関して、支援を行ってまいります。

また、時代の変化に即した新技術の講習に関して、各支部のニーズを十分に反映させて、「4K・8K 放送新技術講習会」を開催してまいります。

なお、新たな取り組みとして、電気関連技術資格取得のための受験対策講習会の開催について、検討を行ってまいります。

今年9月には「第2回電気工事技能競技東北大会」、11月には「第4回電気工事技能競技全国大会」が開催されますが、担当委員会として、出場選手への指導・支援にあたってまいります。

引込線事業委員会では、事業の展開として「仕事量確保」、安全の確保として「ゼロ災害達成」を委員会の最重要事業として、積極的に事業に取り組んでまいります。

一つ目の「仕事量確保」に関しては、本年4月の東北電力ネットワーク㈱の分社化を控え、支部並びに引込線工事会社と連携・協力を図りながら、「委託工事」並びに「配電付託」はもとより、関連するその他の業務についても「引込線以下工事は全て電気工事組合」を実現すべく、鋭意仕事量を確保するための活動を行ってまいります。また、引込線工事会社間で格差があります業務量に関して、適切に業務が遂行できるよう業務量の調整に努めてまいります。

二つ目の「ゼロ災害達成」に関しては、昨年度、各引込線工事会社でゼロ災害を達成することができましたが、事故には至らないヒヤリハット事例が見受けられました。引き続き、各引込線工事会社作業現場への安全パトロールを実施するとともに、安全大会を継続開催して、安全意識の醸成に努めてまいります。

明治、大正、昭和、そして平成と、今を生きる人たちが歩んできた時代のなかで、唯一、平成だけが戦争を経験したことが無かった時代でした。令和の時代も平和であることを願ってやみません。

結びに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力㈱の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2020 年 年頭の御挨拶

新潟県知事

花 角 英 世

令和2年の年頭に当たり、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年は、「新潟の魅力」を広く国内外の皆様にお伝えする機会に恵まれた1年でした。5月に開催されたG20新潟農業大臣会合では、34の国と国際機関の代表団の方々に、歓迎行事等を通じて食や文化など新潟の魅力を感じていただけたと思っております。また、9月に開会した本県初開催となる「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」においては、開会式に天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、県内各地で179の文化事業が展開され、全国から多くの皆様に御来県いただき、本県の特色ある伝統芸能や地域文化等を楽しんでいただくことができたものと考えております。

一方、全国各地で「数十年に一度」、「想定外」と言われる災害が発生しており、本県でも6月に発生した山形県沖を震源とする地震や、県内初の大雨特別警報が発令された10月の台風第19号では、河川、道路、住宅や農作物などに大きな被害が生じました。このように、相次いで発生し、かつ、激甚化する自然災害から県民の命とくらしを守るため、国の有利な財源を最大限活用し、将来の財政負担にも配慮しながら、ハード・ソフト両面にわたり防災・減災対策を強化してまいります。

令和という新しい時代を迎え、国内・国際社会の動向や科学技術がこれまでにない速度で変化していく中、本県は多くの地方団体と同様、人口減少という過去に例のない、深刻な課題に直面しております。そのような中でも、活力を維持・向上できる社会を創ることが急務であり、そのためには柔軟かつ新しい発想で県の施策を進めていく必要があります。県の施策を支える財政は危機的な状況ではあるものの、縮み志向に

陥ることなく、前向きな知恵を出しながら、これからも住み続けたい、国内外の方々が魅力を感じ訪ねてきたいと思える「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を創ってまいりたいと考えております。

さて、国内においては、東日本大震災以降、再生可能エネルギーに対する社会的要請が高まっており、本県においても再生可能エネルギーの導入が進められてきたところですが、風力や水力、バイオマス、地中熱など、本県の多様な地域資源を活かした再生可能エネルギーの更なる導入促進により、将来のエネルギー選択の幅を拡大させることが重要であると考えております。また、近年はAIやIoTなど、急速なIT技術の進展に伴い、エネルギーシステムが多様化、高度化していることから、社会基盤を支える皆様方の果たす役割が、益々大きくなるものと認識しております。

県といたしましても、活力ある社会と持続性のある強い経済の実現に向けて、引き続き、新しいことに挑戦する意欲ある企業の支援に取り組むとともに、再生可能エネルギーの導入促進に向けた支援や環境整備など、県内産業の振興を積極的に推進してまいりたいと考えております。

今後も、電気工事における安全確保という基本の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続き御尽力くださるようお願い申し上げます。

結びに、貴組合の御発展と皆様の御多幸をお祈りしまして、新年の御挨拶といたします。



年頭のご挨拶

2020 年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

高 野 広 充

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、電気事業を取り巻く環境は、電力の小売全面自由化による競争の激化など大きな変革期を迎えておりますが、本年4月には、国の電力システム改革の一環として送配電部門の法的分離が実施されます。

当社は、発電事業および小売電気事業を運営する「東北電力株式会社」のもと、送配電部門を「東北電力ネットワーク株式会社」として分社化いたします。

今後は、新たな組織体制となりますが、引き続き、競争力の確保や収益力の拡大を図るとともに、ネットワーク会社については、中立性・公平性を確保しながら、円滑な業務の遂行に取り組んでまいります。

一方、今後、さらに競争環境が激化し効率性を求められる環境下にあっても「電力の安定供給」の使命は、これまでと全く変わるものではありません。

近年、各地で自然災害が頻発し甚大な被害が発生しておりますが、両社は同じグループ企業として、引き続き、これまでの風水害や地震の経験から得た知見を踏まえた繰り返しの訓練を行うとともに、有事の際には、貴組合とも十分連携を図りながら早期に復旧ができる体制を整

えライフラインを担う使命を全うしてまいります。

また、当社は、昨年2月に新潟県と包括連携協定を締結し、地元企業の一員として、新潟県および県内企業との連携を図りながら、新潟県がスローガンに掲げる「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に少しでもお役に立てればと考えております。

昨年は、新潟県内における水素利用拡大に貢献するため、民間企業では県内初となる燃料電池自動車を当社新潟支店に導入したほか、昨年10月から12月に開催された「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」に連動し、仙台市内の当社PR施設「グリーンプラザ」において、新潟県の交流人口増加に向けたイベントを開催するなど幅広い取り組みを行ってまいりました。

当社といたしましては、これからも東北電力グループのスローガン「より、そう、ちから。」のもと、地元新潟の電力会社として、地域に「寄り添い」、お客さまのご要望に「より沿い」、新潟の成長や発展への貢献を通じて、お客さまや地域社会のご期待にお応えできるよう全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、貴組合が、長年に亘り、電気工事を通じて新潟の経済発展に寄与されてきたことに、あらためまして敬意を表しますとともに、貴組合の益々のご発展と、組合員とご家族の皆さまにとりまして、本年が「安全」「健康」で幸多き年となりますよう心よりご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2020 年 年頭の挨拶

総務委員長

本 山 秀 樹

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様には穏やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は5月に年号が平成から令和に変わり、新天皇陛下がご即位され、慶祝気分にあふれた1年でありました。また、ラグビー・ワールドカップでの日本チームの活躍を象徴する「ONE TEAM」は、令和元年の流行語大賞になり明るい世相を反映した言葉でした。反面昨年は、大きな災害の年でもありました。9月に発生した台風15号は関東地方を直撃し、特に千葉県では強風により電柱が倒れるなど数週間に渡り停電災害が起これ、日常生活に大きな影響を与え、電気の重要性をあらためて痛感させられました。復旧に関わった多くの電気工事関係者のご苦勞に、敬意を表します。新潟県内でも被災された方があり、一刻も早い復興をご祈念申し上げます。

10月には消費税の10%への増税があり、増税前の住宅建設の駆け込み需要と、その後の反動減が予想されます。すでにピークは過ぎましたが、2020年東京オリンピックによる原材料費の高騰、人手不足は、中小企業の経営を圧迫しています。中小企業対策、地方活性化対策など、矢継ぎ早の政策の実施が求められます。この件については、総務委員会の活動として県工組市町村議会議員協議会との懇談会を毎年開催して

います。顧問の佐藤参議院議員、相談役の県会議員の方々と交えての懇談会ですが、電工の公共工事設計労務単価を全国平均並に引き上げていくことや、若手技術者の入職、定着、育成など、業界を取り巻く諸問題は多々あります。県工組政治連盟としての意見具申を、三役と共に積極的に行って参りたいと思っています。

総務委員会では、継続事業として、担い手確保のため「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を進めてきました。電気系高校生だけでなく範囲を広げ、今年度は、新規に塩沢商工高校でも実施の予定です。

また、ITを活用した事務の効率化並びに情報伝達の迅速化では、サイボウズの活用、WEB会議の導入が、金沢市での全日電工連全国大会で「時代に対応した事業」として銀賞を授与されました。新潟県工組の先進的な取り組みが認められ、進むべき方向性を確信しました。

また、総務委員会では毎年「地域懇談会」を開催しています。今年度は11月に小千谷支部、2020年1月に新津支部を訪問し、支部で抱える問題点、本部に対する要望等をお聞きし、今後の事業に活かしたいと思います。

終わりに、今年もまた組合員皆様のご協力をお願い申し上げ、皆様の益々のご健勝、ご発展をご祈念申し上げます。



年頭のご挨拶

新年のご挨拶

経営企画推進委員長

山 本 進

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

平素は当経営企画推進委員会の諸行事等運営にご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

日韓や北朝鮮問題、中国の景気の低下など、我々を取り巻く状況は決して良好なものとは言えませんが、注意深く注目していかなければならないと思います。

さて、当委員会の事業計画に省エネ・創エネ・蓄エネ等の調査研究という項目があります。2030年には新築の家屋の零エネルギー住宅、いわゆる ZEH（ゼッチ）が国土交通省によって定められました。当然電気業界だけの問題ではなく、建築に関わる全ての業界に対する重い命題です。我々の業界に求められる事はエネルギーの自給自足という事であります。省エネ・創エネ・断熱等やらなくてはならない事はたくさんあります。

創エネの一環として、24時間発電機や壁掛け型の太陽光パネル、省エネの部分としては電気料金が1/4となるヒーターや制御盤及びLED照明等、いろいろと模索して参りましたが、実現可能でそれに実際取組みがきっちり出来れば、経営の多角化や安定につながるものと確信しております。

先日、小千谷のエネルギー懇談会で茨城県的那珂市の国立那珂核融合研究所（青森県の六ヶ所村にもあります）に視察に行参りました。

水素の一種である重水素と三重水素の原子核を融合させると膨大なエネルギーが発生します（重水素と三重水素1gで石油8t分のエネルギーに相当し、100万kwの発電所を一年間運転する為に核融合燃料は0.2tで石油の140万tに匹敵）これらの原子核は正の電荷を持つため、相互

の反発力に打ち勝って融合させる為には毎秒1,000キロメートルもの高速で勢いよく衝突させる必要があり、1億度以上に加熱し原子核と電子をプラズマ状態にするのだそうです。プラズマを構成する原子核と電子は共に電荷を持ち、磁力線に巻きつく性質が有るため、-269度という温度で超電導状態でそれでも550万アンペアでプラズマ電流を流し、フレミングの法則で磁場を作り出すのだそうです。原料となる重水素とリチウムは海水より取り出し、これらを燃料として使用する事で二酸化炭素や窒素酸化物は発生しないそうです。核融合反応が暴走する事がなく、高い安全性が有り20年か25年後には日本、米国、欧州、ロシア、韓国、中国、インドの7極の協力のもと、フランスでの建設が終了し、発電に入るとの事でした。原子力の次世代の発電となる事が認識されました。

閑話休題となりますが、3月に電気工事業活性化懇談会として、企業合併や協業の事例講演を受け、その後我々の同業者と管工事会社の合併の実例報告の会を企画しております。4月には現場力レベルアップセミナーの名称を『施工力レベルアップセミナー』と改名し、技術委員会の現場代理人を対象としたセミナーと一線を画して行う事としました。福利厚生制度の充実におきましては、グレードアップした第三者損害賠償制度や、所得補償、介護補償、がん補償の付いた生活総合保険制度や組立保険を用意しており、更なる補償制度の充実を目指しております。

当委員会は「役に立つ」「経営基盤の強化に」「実績の残せる事業」を目指し、楽しく協力の出来る活動を行って参りたいと思っております。

最後になりますが、皆様方のご繁栄とご健勝を祈念し、実り多き年となります事をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2020 年 年頭のご挨拶

技術委員長

梨 本 栄 一

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を迎えお慶び申し上げます。

日頃より、技術委員会の活動に、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、技術・労働安全衛生関係講習会に、大勢の方々に受講いただき、重ねて感謝申し上げます。

昨年は、フルハーネス型安全帯の義務化により、特別教育の講師養成講習会を開催し、低圧電気取扱特別教育では、新たな講師養成のご要望があり、合せて講師養成講習会を開催したところです。講師の皆さんにはご苦勞をお掛けしますが、支部での講習会開催に向けてよろしくお願い致します。

同じく昨年行われました「高校生ものづくりコンテスト新潟県大会」では、審査員として参加させていただきました。向上心があふれる高校生で、また各支部のご指導もあり、どの作品も甲乙つけがたい素晴らしい出来栄でした。この大会を通じて我々組合とのパイプが太くなり、一人でも多くの高校生に興味をもってもらい、将来、一緒に仕事に携わっていただければと感じております。

さて、毎年度事業計画に掲げている「内線工事における不良率低減の推進」ですが、依然として接地工事による不良が多いのが現状です。この件で、大阪府電気工事組合のご厚意により、接地工事不良撲滅に向けた資料をご提供いただきました。たいへん参考になりますので、早いうちに皆様にご紹介できればと思います。

また、「4K8K 放送新技術講習会開催」では、委員会で協議し方向性も決まりましたので、これから各支部開催に向けてお願いするところです。

また、今年は3回目となる現場管理者向けの「現場管理者のための必携セミナー」を、2月か3月に開催致します。過去2回のセミナーでは、受講した9割以上の方がよかったとアンケートに寄せております。更に充実したセミナーになるよう、ご意見・ご要望を踏まえ準備を進めているところですので、多くの皆様のご参加をお願い致します。

以上、講習会、セミナー等に関しまして、当委員会にご要望等がございましたら、どうぞ何でもお聞かせ下さい。技術委員会で協議して、少しでも皆様のお役に立てればと考えております。

さて、今年はなんと言っても、「第2回電気工事技能競技東北大会」が9月5日に青森県八戸工科学院で、「第4回電気工事技能競技全国大会」が一般の部で1県1名出場という更に規模が拡大されて、11月24日、25日に横浜アリーナで開催されます。前回大会では、三条支部の本間電機工業(株)小嶋選手が両大会とも見事優勝され、たいへん感動したことが昨日の事に思い出されます。全国大会では金、銀、銅の全部門を東北ブロック選手全員が勝ち取るという快挙で、新潟県をはじめとする東北ブロックの技術力をアピールする素晴らしい大会となりました。

今大会でも前回同様、技術委員会で出場選手を全面的にバックアップして参りますが、また、素晴らしい成績が収められますよう、皆様からの厚いご声援をお願い致します。

結びになりますが、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。



年頭のご挨拶

電力完全分社化に向けた引込線事業のあらたな展開と、ゼロ災達成をめざして

引込線事業委員長

原 田 和 広

新春を寿ぎ謹んでご挨拶申し上げます。

日頃は引込線事業に関しまして、多大なご支援とご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我々、引込線事業に仕事を発注いただいております東北電力株式会社様につきましては、いよいよ今年4月に完全分社化となり販売部門は従来の「東北電力株式会社」、我々に直接関わりのある東北電力送配電カンパニー様は新たに「東北電力ネットワーク株式会社」としてスタートいたします。

このような新体制を迎え、まだまだ不透明な状況のなかですが、当委員会では東北電力ネットワーク株式会社様のご指導のもと、更なる収益拡大について柔軟に対応していきたいと考えます。

今年度、引込線事業の売上では、「引込線委託工事」は3か年連続で減少。配電付託である「引込線張替工事」は電力様の工事予算の大幅削減により激減しましたが、電力自由化に伴う「スイッチング工事」だけが昨年度の1.5倍の増加で、全体としては昨年度並みの売上となる見込みであります。しかしながら、そのスイッチング工事も令和5年には終了することから、仕事量確保のため、新たな業務を模索し電力様へも提案していきたいと思えます。

そのためにも各支部・各引込線工事会社が連携し、一枚岩となって新たな時代の波に立ち向かっていかなければと考えます。

今年度は3年に一度の東北電力引込線委託工事の認定・更新の年でした。契約元である東北電力株式会社資材部様からは、「平成30年4月

の宮城支店管内の引込線工事会社、墜落死亡災害の反省から、再発防止の一環として今後、(適正な作業人員の確保)(単独作業の禁止)(従事者名簿に記載した社員による工事施工)(安全衛生教育・技能訓練の受講)を強化し、違反行為に当たる場合は指定を取り消す。」との厳しいお話をいただきました。このことから現在のJV体制や、作業員の二重登録など見直しが図られることとなります。

安全面では、県内の引込線工事会社では労働災害ゼロを継続しておりますが、「計器工事におけるヒヤリハット事例」や「施工ミスによるお客様設備被害」が散見されました。また東北電力管内では、重大災害である「感電災害」や「脚立からの転落災害」も発生しております。

これらの背景には「このやり方で今までも大丈夫だったから」「被覆電線だから触っても感電しないだろう」という危険意識の薄れに加え、作業指揮者の指示不明確による作業員の不安全行動もありました。このことからゼロ災達成のためには、作業指揮者が作業のステップ毎に指示を出し、作業員も大きな声で復唱することが大事であります。またそのような職場風土を構築するため、経営者の皆様も積極的に安全会議等へ出席するなど関与していただきたいと思えます。

結びに、気温低下、強風雪による作業環境が悪化する時季であります。「安全第一」をモットーにゼロ災をめざしましょう。

皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2020 年 年頭のご挨拶

県青年部会長

大 島 博

新年、明けましておめでとうございます。日頃は新潟県電気工事工業組合青年部の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

令和元年度理事総会におきまして、齊藤卓也前会長からバトンを受け新潟県工組青年部の会長という大役に就かせていただき、大きな責任と使命を感じております。

新潟県工組青年部理事、電気工事業に携わる者としてもまだまだ若輩者ですが、脈々と受け継がれてきた歴代の先輩諸兄の業界、青年部への想いを受け継ぎ使命感と覚悟をもって業界、組織の発展に寄与してまいりたいと考えております。

昨年は元号が平成から令和へと変わり新たな時代がスタートを致しました。1996年にコミュニケーションツールとしてあったポケベルの加入契約数が1,078万でしたが、現在の移動通信の契約加入件数は15,965万と平成の間だけでも大きく変化をいたしました。AIやIoTによる技術革新、生活、社会環境の変化や政府が掲げる「働き方改革」の一環で注目が集まる「多様性」を意味する「ダイバーシティ」違いを受け入れ、企業の成長に活かすという考え方による働き方や雇用形態の変化等、様々な事案が目まぐるしく変化するこれからの10、20年は更に大きく変化し、また変化のスピードも速いと言われる時代を私たちは生き抜いていかなくてはなりません。今までの先輩諸兄の想いを受け継ぎつつ、時代の変化を捉え変化に臆することなく研鑽を積み新たな事へも果敢にチャレンジをしてまいりたいと考えます。同じ業界においても事業規模、形態が異なる会員によって構成されている組織において画一的な考え方や見方をするのではなく、組織のスケールメリットを生かし積極的に情報交換を行い良い事例や取り組みはアレンジ、変化させ取り入れていく事で組織、自社の発展へと繋げてまいりま

しょう。

昨年は6月には生涯スポーツの一つでもある「ボッチャ」「フロアーホッケー」を競技に、他団体からも協力をいただき支部間交流スポーツ大会を小千谷支部より開催をいただきました。また11月には「電気工事業界のマイナスイメージの払拭と活性化にむけて～女性の活躍推進と共に～」をタイトルに経営セミナーを開催させていただきました。交流スポーツ大会は人数の少ない支部が他団体から協力をいただくことによって、また誰もがチャレンジしやすい生涯スポーツを競技として取り入れ実施を致しました。経営セミナーでは人手不足が進む時代における人材の確保、業界のイメージアップへの一助と繋がるように、業界の大多数が占める男性でなく異性を講師に業界のイメージや考え方について講話をいただきました。どちらも全く課題が無かったとは言いませんが新たな考えや取り組みへの一歩となったと考えております。

「青年部」らしく「青年部」だからこそ時代の変化をつかみ変化しつつ更なる発展に向け皆さまと新潟県電気工事工業組合青年部の活動を共に展開してまいりたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

結びに新たな年が皆様にとってもより良き年となりますよう祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。



小千谷支部との地域懇談会を開催

令和元年度の地域懇談会が、小千谷支部において開催されました。

地域懇談会は総務委員会事業として、支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、毎年度2支部を廻って開催されるものです。

令和元年度の1回目となる小千谷支部との地域懇談会は、11月19日（火）、小千谷市総合産業会館サンプラザにおいて開催され、県本部より横田副理事長をはじめ三役・総務正副委員長他9名、小千谷支部より役員・組合員他12名、合計21名が出席しました。



懇談会場

懇談会は、本山総務委員長の開会・進行ではじまり、小千谷支部の山本進支部長並びに横田副理事長より挨拶、本部より組合の活動状況並

びに委員会活動について映像で紹介が行われたのち、今回の懇談テーマである①組合員の減少について、②引込線会社の経営について他、活発な意見交換が行われました。



山本支部長の挨拶

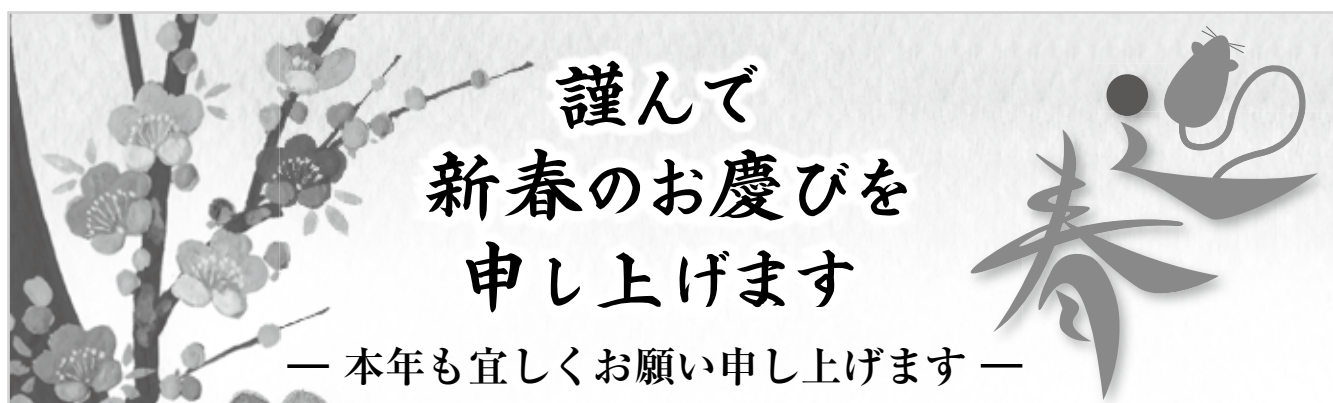


横田副理事長の挨拶



小千谷支部組合員と意見交換

令和元年度の2回目となる新津支部との地域懇談会は、1月22日（水）に開催予定です。



全日電工連創立 60 周年記念 第33回 電気工事業全国大会(北陸・石川大会)に参加！

経済産業大臣表彰 小林功理事長

電気工事技能競技全国大会事業功労者表彰 斎藤賢副理事長

第4回優良事業工組表彰 銀賞 「組合のIT化推進事業」

10月17日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、北陸電気工事組合連合会主管による全日電工連創立60周年記念第33回電気工事業全国大会（北陸・石川大会）が、石川県金沢市の石川県立音楽堂において、全国の組合員、青年部、ご来賓など約1,900名参加のもと開催され、当工組からは親会17名、青年部15名、事務局5名の計37名が参加しました。

今回で第33回目となる大会は、全日電工連創立60周年という節目となる大会として、メインテーマに『輝く明日へ 社会を照らす使命のリレーを、今ここから』、サブテーマに「知ろう、語ろう、伝えよう、電気工事の魅力と誇り」を掲げ、大会前日の10月16日に「意見交換会」、大会当日の10月17日は午前中に「組合活性化研修会」、午後から「大会式典」、「交流会」が開催されました。また、金沢駅東もてなしドーム地下広場では、一般の方向けの業界PRコーナーや企業展示も併設されました。

10月16日15時より行われた「意見交換会」には、全国の組合員、青年部会員合わせ約500

名が参加。全71テーブルに分かれ、「デジタル革命がもたらす電気工事業の働き方の未来について」、「地域電気工事業者への人材供給の活性化に向けた今後の人材確保と人づくりとは」、「全日電工連60年の足跡から学ぶ我々が描くこれからの組合事業とは～社会の変化に対応した組合事業とは～」の3つのテーマについて、活発な意見交換が行われました。本意見交換会には、当工組青年部を中心に14名が参加しました。（意見交換会の詳細は別頁の県青年部記事をご覧ください。）

10月17日9時30分より行われた「組合活性化研修会」は、特色ある事業を行っている各県工組事業の事例発表を通じ、時代の変化の先頭に立つ意思を持ち、自ら行動する組織作りや工組財源確保の一助とするとともに、全国に啓発・普及を図る目的に開催され、第4回優良事業工組表彰エントリー54事業および昨年度実施した第3回青年部優良活動事例10事業の計64事業の中から、9事業について事例発表が行われました。当工組も事業改善・改革部門に「組合のIT化推進事業～組合イントラネット・Web



参加者記念撮影（親会）

会議システムの導入～」をエントリーし、同研修会において品田史夫総務委員より事例発表が行われました。発表はスライドを中心に、当工組の組合イントラネット（サイボウズ）と Web 会議システムの導入目的・経緯、利用実績とメリット、今後の展開等について紹介が行われま



発表者の品田史夫総務委員

した。途中、実際の Web 会議の様子を撮影したビデオ映像も盛り込み、その中で新潟のお米や地酒の紹介なども行い会場を沸かせました。



組合活性化研修会 新潟県工組事例発表

13時45分から行われたオープニングでは「金沢芸妓素囃子」の演奏が披露され、続いて、14時より行われた「大会式典」は、全日電工連60周年の足跡（映像）、開会宣言、国歌斉唱、黙禱、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、創立60周年記念表彰、記念品贈呈式、来賓祝辞・紹介、祝電披露、第4回優良事業工組表彰および金賞受賞事業等プレゼン、意見交換会発表、大会決議（抜粋別掲）、次回大会紹介等のプログラムが執り行われました。

創立60周年記念表彰では、当工組より、経済産業大臣表彰として小林功理事長（全日電工連



大会式典会場 米沢寛全日電工連会長挨拶

副会長）が表彰され、宮本周司経済産業大臣政務官より表彰状が贈られました。また、全日本電気工事業工業組合連合会事業功労者表彰「電気工事技能競技全国大会事業功労者表彰」として斎藤賢副理事長が表彰され、米沢寛全日電工連会長より表彰状が贈られました。



経済産業大臣表彰
小林功理事長



電気工事技能競技全国大会
事業功労者表彰
斎藤賢副理事長

第4回優良事業工組表彰では、当工組がエントリーした「組合のIT化推進事業～組合イントラネット・Web会議システムの導入～」が銀賞に輝き、米沢寛全日電工連会長より横田良英副理事長に賞状が贈られました。同表彰の金賞は埼玉県工組「工業高校生電気工事士資格取得支援事業」が受賞し、プレゼンが行われました。また、第3回全国青年部会員大会優良活動発表会最優秀賞事業プレゼンでは、昨年度の全国



第4回 優良事業工組表彰 銀賞

青年部会員大会の優良活動発表で最優秀賞に輝いた福岡県工組青年部の「拾って覚える！実践 電気工事積算入門発行」の事業内容紹介が行われました。

次回大会紹介では、令和2年11月24日・25日に横浜アリーナで開催の第4回電気工事技能競技全国大会について、小林功全日電工連副会長（当工組理事長）より大会概要等の紹介、令和3年11月11日開催の第34回電気工事業全国大会（関西・滋賀 びわ湖）について、関西電気工事工業会より紹介が行われました。

大会式典終了後に行われた「交流会」では、終始和やかな雰囲気の中、全国の組合員、青年部の皆様との交流を深め、全国大会は幕を閉じました。今大会は、大会直前の台風19号による日本各地での浸水被害により大会の開催が心配されましたが、大会式典内で米沢寛全日電工連会長が「全国の組合員が心をひとつにして今後の復興支援に取り組むことを決意し、全日電工連の次の70周年に向けて更に飛躍する組織づく

りを目指す」と挨拶され、全国から集まった組合員がより一層結束を強めた有意義な大会となりました。大会の開催にご尽力されました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

（別 掲）

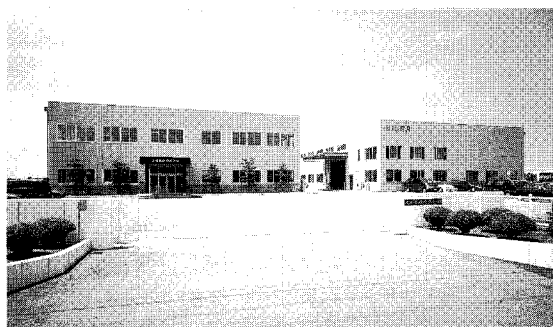
創立 60 周年記念 第 33 回 電気工事業全国大会 「大会決議（抜粋）」

- 一．技術革新に先行する技術者の育成強化を図り、信頼される、街の電気ドクターをめざす
- 一．デジタル革命時代に対応した働き方の未来を見通し 業界の次なる発展繁栄に向け 正しい市場作りをめざす
- 一．創立 70 周年に向け あるべき姿を俯瞰し 地域社会とともに歩み続ける業界として スピード感を持って各種事業を具現化する



第4回電気工事技能競技全国大会紹介
（小林功全日電工連副会長・当工組理事長）

先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小 名 隆 一

本 社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
FAX (025) 274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739
東 港 工 場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

令和元年 秋の褒章

去る12月17日、令和元年秋の褒章伝達式が東京都目黒区のホテル雅叙園東京で執り行われ、社会や公共の福祉、文化などに貢献された受章者が、褒章を拝受した。また、引き続いて皇居「豊明殿」において天皇陛下に拝謁賜った。

当工組より、その道一筋に業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有するとして、元副理事長の小島重光氏が黄綬褒章を受章された。

▼令和元年秋 黄綬褒章

小島電設 株式会社

代表取締役会長

小島 重光 氏

(魚沼支部)



小島重光ご夫妻

全日電工連 創立 60 周年記念表彰

去る10月17日、全日電工連創立60周年記念第33回電気工事業全国大会（北陸・石川大会）が石川県金沢市の石川県立音楽堂で開催され、大会式典内において全日電工連創立60周年記念表彰の表彰式が執り行われた。

当工組より、経済産業大臣表彰として小林功

理事長（全日電工連副会長）、全日本電気工事業工業組合連合会事業功労者表彰「電気工事技能競技全国大会事業功労者表彰」として斎藤賢副理事長が表彰された。

▼経済産業大臣表彰



新潟県電気工事工業組合
理事長

小林 功 氏

▼全日本電気工事業工業組合連合会 事業功労者表彰 「電気工事技能競技全国大会 事業功労者表彰」



第1回・第2回大会
実務総括責任者
新潟県電気工事工業組合
副理事長

斎藤 賢 氏

中小企業団体の組織に関する法律施行 60 周年記念表彰

去る 11 月 26 日、中小企業等協同組合法施行 70 周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行 60 周年記念式典(全国中小企業団体中央会主催)が、東京都港区の ANA インターコンチネンタルホテル東京で開催され、大会式典内において中小企業団体の組織に関する法律施行 60 周年記念表彰の表彰式が執り行われた。

当工組より、理事長の小林功氏が、中小企

業団体の組織に関する法律の施行以来、商工組合等の発展に寄与した功績が顕著であるとして、経済産業大臣賞・商工組合等功労者を受賞した。

▼経済産業大臣賞・商工組合等功労者

新潟県電気工事工業組合 理事長

小林 功 氏

令和元年度

消防設備保守関係功労者 表彰（消防庁長官表彰）

去る 11 月 1 日、令和元年度の消防設備保守関係功労者表彰の表彰式が、東京都港区明治記念館で執り行われ、当工組より、消防設備保守功労者表彰（消防庁長官表彰）として、理事長の小林功氏が、消防用設備等の設置及び維持管理

の適正化を通じ、消防行政の推進に寄与した功績により、消防庁長官から表彰された。

▼令和元年度

消防設備保守関係功労者表彰 （消防庁長官表彰）

有限会社 富士電気工事店

代表取締役 小林 功 氏（上越支部）

第 33 回

消防設備保安功労者 新潟県知事表彰

去る 10 月 30 日、第 33 回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で執り行われ、当工組より、消防設備保安功労者として副理事長の横田良英氏が、地域社会における住宅用火災報知機等の消防用設備の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼第 33 回

消防設備保安功労者新潟県知事表彰



株式会社 英電社

代表取締役

横田 良英 氏

（柏崎支部）

令和元年度

優秀施工者国土交通大臣顕彰

去る10月11日、令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の顕彰式が、東京都港区のメルパルクホールで執り行われ、技術・技能が優秀で、後進の指導・育成に努め、他の建設現場従事者の模範である施工者が「建設マスター」として顕彰された。

当工組より、全日本電気工事業工業組合連合会推薦者として、第一電設工業株式会社 稲村辰也氏が多くの電気設備工事に携わり、優秀な施工実績を残しているとして顕彰された。

▼令和元年度
優秀施工者国土交通大臣顕彰

第一電設工業 株式会社
工事部 部長
稲村 辰也 氏
(新潟支部)

第27回

優秀施工者新潟県知事表彰

去る11月14日、第27回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で執り行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社電通社 若井隆氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第27回
優秀施工者新潟県知事表彰

株式会社 電通社
工事部
工務電設課 課長
若井 隆 氏
(新潟支部)



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業企業年金基金

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

長岡支部

長岡支部秋期事業報告

今回は、長岡支部の主な秋期事業についてご紹介いたします。

長岡支部では、9月12日（木）に経営セミナーを開催いたしました。第一部はノア社会保険労務士法人の星野豊紀様より働き方改革関連法について、特に時間外労働の上限規制と年次有給休暇の取得義務化についてご講演いただきました。第二部は東北電力㈱長岡営業所お客さま提案課様よりお得な新料金プランをご紹介いただきました。東北電力の料金プランセミナーは、今年度で3回目の開催となりましたが、特徴は一般家庭のライフスタイルに合わせて選べる料金プランが揃っていることです。特に400kWh以上の中間使用量帯以上のお客さまには「よりそう＋ファミリーバリュー」がおすすめです、スマートメーターが既に設置されている場合は、試算をして一番お得な料金プランがご提案出来るということです。是非、組合員の皆様、ご自宅・事業所も含めてお得な料金プランを試算してみてくださいはいかがでしょうか。

10月6日（日）開催のわんぱく建築工作まつりに当支部も参画いたしました。これは「ものづくり」の楽しさを体験して貰おうと、長岡市建設各職連合会所属の各団体が共同で小学生を対象に毎年行っている事業です。会場はアオーレ長岡のナカドマ。各団体の出し物については、建築組合は「親子で木工工作」、左官組合は「キラキラボール」、畳業組合は「ミニ畳作り」、建築板金組合は「ヘラ彫金」、材木商組合は「丸太切り」、建築士会は「ペーパークラフト」、管工事組合は「水道管工作」、建具組合は「My はし作り」、当組合の「電池で動くプラモ工作」と各業界の特色を活かしたものとなっています。また、当組合オリジナルでプラモを完成させた子

供達に、子供達の写真を添付した未来の電気工事士認定書を作成し、151名の子供達に当日交付されました。将来、電気工事士になって業界を担ってほしいと願っています。



わんぱく建築工作まつり

長岡駅前の冬の風物詩となった青年部会のイルミネーションが今冬も長岡駅東口で行われています。「長岡駅東口 WINTER HANABI」と題し、長岡の象徴である花火をテーマに慰霊、復興、平和への長岡市民の祈りが込められたイルミネーションとなっています。設置工事は昨年11月23日（土）、点灯期間は12月1日（日）から2月14日（金）16時～22時の予定ですので、長岡にお出かけの際は是非ご覧ください。その他、アオーレ

長岡のナカドマと大手通商店街でもイルミネーションが行われます。

以上、長岡支部で秋期間行っている主な事業をご紹介いたしました。



柏 崎 支 部

研修旅行 ハッ場ダム・富岡製糸場見学

去る11月10日(日)～11日(月)に群馬県へ研修旅行に行っていました。

柏崎支部では2年に1回の研修旅行となっており、支部の厚生委員会の事業となっております。この度は、群馬県の草津温泉を宿泊先とし、メイン見学場所をハッ場ダム、富岡製糸場と軽井沢プリンスショッピングプラザというルートで計画致しました。組合員19名、ちょうど半数の参加者となりました。



ハッ場ダム

1日目のハッ場ダムですが、来春の本格運用に備えて、試験運用段階だったところ、ちょうどダム湖内の水位を最下限まで落として(試験湛水)、そこから水を貯める状況でした。そんな中での10月の台風19号により、ダムはしっかりと水を貯め込み氾濫を防げたとの話ですが、ダムの周りには、その爪痕が周りの木々に残っていたのが印象的でした。



ダム前で記念撮影

2日目のメイン見学場所として世界遺産 富岡製糸場に行ってきました。もうすでに行かれている方もいるかと思いますが、非常に興味深

い建屋、内部を見学してまいりました。一時期の混雑は少し緩和されたかなと、思っておりましたが、結構な人数の見学者が並んでおりました。

この富岡製糸場は、フランスの技術導入から始まり、日本独自の自動繰糸機を実用化し19世紀後半から20世紀の養蚕・製糸の技術革新を示した絹産業に関する遺産となりました。かつて一部の特権階級のものであった絹を世界中の人々に広めました。

当時の工女が活躍された繰糸所や検査人館、寄宿舎等を見学し、建屋の建築工法も当時の大工、瓦職人がフランス建築家の下で建築されたとの説明も聞き、特に外壁の煉瓦は瓦職人が手掛けたとのこと。当時は電気がなく外からの明かりを取り入れられる造りと工夫されて、当時としては建築技術も進んだ革新のものだったとのこと。

株式会社富岡製糸所は当時、日本最大級の繊維企業であった片倉に合併されることになり、合併の年に片倉富岡製糸所と改称され、戦後は片倉工業株式会社富岡工場となり、1987年(昭和62年)2月26日に操業を停止するまで歴史に残された工場となりました。勿論、昭和の時代は電気もあり、古い照明器具が工場ラインに設備されておりました。そして、やはり皆さん案内しているところと違う、電気室をのぞき込んでおりました……。しかし、何といても一番の満足は、草津温泉に浸かり、その後の一杯でしたでしょうか。



富岡製糸場見学

県 青 年 部

第33回電気工事業全国大会 意見交換会に参加！

県青年部では、大島会長他役員と事務局の16名で創立60周年記念 第33回電気工事業全国大会へ参加しました。



集合写真

大会式典前日の10月16日午後から石川県金沢市のホテル日航金沢にて意見交換会が開催され、約500名の組合員・青年部会員が参加しました。当日は、意見交換会の3つのテーマ「A：デジタル革命がもたらす電気工事業の働き方の未来について」「B：地域電気工事業者への人材供給の活性化にむけた今後の人材確保と人づくりとは」「C：全日電工連60年の足跡から学ぶ我々が描くこれからの組合事業とは～社会の変化に対応した組合事業とは～」について事前プ

レゼンが行われた後、1テーブル7～8名ずつで、各地域の情報共有化を目指して活発な意見交換が行われました。

参加者からは「色々と面白い話を聞くことができた。」「初参加で少し緊張したが、同じ職業同士、打ち解けるのも早くあつという間の時間だった。」「全国各地の人と交流を持ち意見交換ができる非常に良い取り組みだと思いますし、次回も是非参加したい。」といった感想が寄せられました。

来年度は、全国青年部会員大会や新潟県開催となる東北七県青年部会員大会が予定されていますので、青年部会員の皆様、奮ってご参加ください。



会場風景

「令和元年度移動理事会」「経営セミナー」を開催

県青年部（大島博会長）は、11月14日に電気工事会館にて移動理事会、合同委員会を開催し、親会の斎藤副理事長、県青年部理事・監事・顧問2名、事務局2名の計29名が出席しました。

各議案については下記のとおりです。

〔移動理事会議案〕

第1号議案 収支中間報告について

〔交流・情報委員会議案〕

- (1) 令和元年度事業の具体的推進について
・青年部支部間交流親善スポーツ大会 (in 小千谷) の反省と次回 (in 三条) へ向けて

〔経営・技術委員会議案〕

- (1) 令和元年度事業の具体的推進について
また、移動理事会・合同委員会終了後、東北

七県電気工事組合連合会青年部の方々も加わり、40余名の参加者のもと、経営セミナーを開催しました。

今回は、いま業界で深刻化している「人材不足なり手不足」の問題を少しでも打開するための一つの方法として、未経験者や女性にもできる電気の仕事を世間一般の幅広い方々に認識してもらい、電気工事業界の間口を広くする事を目的に計画し、テレビや雑誌などのメディアでご活躍され、また一般の方々への影響力もある、新潟を拠点に活動している特定非営利活動法人「地域活性化ガールズ集団 Lily&marry' S」(以後：リリマリ)の方々にご協力していただきました。

内容としては、事前にリリマリの皆さんに電気のお仕事を体験していただき、「電気のお仕事体験 PV 動画」を作成した上で、経営セミナー当日はその動画上映、リリマリ代表の山田彩乃氏とお仕事体験メンバーによる対談、その後、山田氏より「電気工事業界のマイナスイメージの払拭と活性化にむけて～女性の活躍推進と



対談リリマリメンバー

共に～」をテーマとしてご講演いただきました。

他業種でも様々な体験をしてきたリリマリの皆様より、「電気工事の仕事に誇りを持つ」、「小・中



対談進行 菅原経営・技術委員長

学生や子供たちに向けたPRにより間口を広げる」、「作業服製作等により業界イメージアップを図る」ことや、男性ではなかなか気付かない感想等を多くいただき、大変参考になることが多い実りのある経営セミナーとなりました。

終了後には懇親会を開催、会員同士大いに交流も深めました。

なお、今回作成した「電気のお仕事体験 PV 動画」は、今後一般の方が見られるSNSにアップを予定しております。



セミナー講師の山田氏



会場風景



集合写真

新潟支部青年部

先進地視察『㈱別川製作所』工場見学

新潟支部青年部では、11月8～9日に先進地視察として石川県にある『㈱別川製作所』へ行き、本社工場を見学させていただきました。到着してすぐ、営業部の浅香さんより、工場内を案内していただきました。

㈱別川製作所といえば、配電盤・分電盤・制御盤の生産を手がけている企業ですが、今回見学させていただいた本社工場では、生産計画・工程計画・発注計画から、仕掛部品・原材料の入出庫管理、進捗管理、納期管理など生産工程上のすべての情報を管理しているそうです。また、各工程を機械的に結びつける基幹物流システムというのを採用しており、この基幹物流システムを中心に置くことによって、作業効率があがりリードタイムの削減につながったそうです。実際に工場の中を見学していると商品の一時保管室がオートメーション化されており、機械が無人搬送していることに驚きましたし、倉庫のあいている空間を天井までうまく利用しているなど感じました。

製品が作られるまでの工程は、設計工程 → 板金工程 → 塗装工程 → 組立工程 → 検査・品質保証体制 → 出荷体制という順番になるそうで、私たちは板金・塗装・組立工程を見学させていただきました。

まず板金工程は、切断面の平滑化と複雑形状部品の切断を可能にするためにレーザー付タレパンを採用していました。また驚いたことは、効率よく工程が進むように設計CADから直接加工情報を取込むシステムを自社で開発していたことです。このシステムを取り入れたことで即日切断加工ができるようになったそうです。

次に塗装工程は、垂直上下の可変速による全没方式を採用したことにより、従来の吹付け方式で不完全であった折り曲げ部分の見えないところも、くまなく塗装できるようになったそうです。私たちはタイミングよくその全没方式の

塗装する瞬間を見ることができました。営業の浅香さん曰く、めったに見ることができない瞬間だったようで、ラッキーでした。

最後に組立工程は、フレキシブルな作業エリア構成で品種を問わない生産体制となっていました。組立工程については、私たちが想像していたのはもっと機械が淡々と組立作業を行っているのかと思っていましたが、実際には人力で一つ一つ手作業で組立てていることに驚きました。これだけ丁寧に作られているのを見ると、㈱別川製作所の製品を使いたくなるなと思いました。今回の工場見学をとおして、実際に自分たちが使っている製品がどのように作られているのか、普段見ることができない製品作りの裏側を見学することができて、とても勉強になりました。また会社としても、福利厚生がしっかりしている印象を受けました。製造業は外国人労働者が多い印象がありますが、㈱別川製作所には外国人の従業員がいなかったため、離職率が低いのかなと感じました。社内でも従業員の資格一覧表が貼られており、お互いの意識を高め合うよう工夫してあったのも印象的でした。



村上支部青年部

電気工事業界PR活動

8月4日、市内のショッピングセンター『村上プラザ』エントランスにて、『電気使用安全月間・業界PR活動』を行いました。

高野部長、今回で何回目でしょうか…？ わからない…。そのくらい継続されている事業になっております。

当日は灼熱の暑さの中、うちわ・リーフレット配布と同時に、『あなたが防ぐ電気事故』のポスターを基に、電気事故の怖さ、安全対策をできる限り詳しく市民の皆様にご説明させていただきました。



大人はもちろん、子供たちにも真剣に私たちの説明を聞いて頂く良い機会となりました。

昨今災害が多発している日本列島におきまして、ライフラインの重要性を感じる事はこの地域に住む皆さんも同じであります。

この地域を守る！などと大きなことは言えません。しかしながら『この地域のライフラインを守る』事は電気工事工業組合しかりこの青年部は可能であると思います。

これからも村上支部青年部は、まずは自分た



ちの住む地域の安全・発展の一助になれるよう、県内他支部青年部のみなさんと、電気を通じ良い『新潟県』を創っていきたいと思います。

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN**株式会社ダイヘン**

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212
東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

佐渡支部青年部

衛星放送用受信設備の講習会を開催しました！

2018年12月から新4K8K衛星放送が始まり、適切な衛星放送用受信設備を用いなければ放送の受信が困難になるだけではなく、放送電波が漏洩して他の機器に悪影響を及ぼす可能性があることから技術者資格が新設されたと、佐渡支部の事業所に（一社）日本CATV技術協会より案内が届きました。20名集まると補助が下りて半額で受けられるそうなので、青年部が主体となり佐渡支部の事業所に積極的に声掛けを行ったところ、何とか20名の参加予定者を確保できて講習会を佐渡で開催できる運びとなりました。

講習会は11月22日に、佐渡を代表する史跡である「佐渡金銀山」のすぐ近くにある「あいかわ開発総合センター」にて開催されました。

話は横道にそれますがこの場をお借りして少し宣伝させていただきますと、上記の「佐渡金銀山」は約400年間の長きに亘って金銀を採掘した鉱山跡で、現在は観光施設として坑道跡を見ることができ、「金を中心とする佐渡鉱山の遺

産群」として世界文化遺産の登録を目指しています。見ごたえ充分なので、お仕事やレジャーで佐渡にお越しの際は是非お立ち寄りください。

さて、話を戻しまして講習会の内容ですが、日ごろあまり馴染みのない技術仕様の話から、使用してよい材料と使用してはいけない材料など現場に密接する話まで、多岐にわたってわかりやすく解説いただきました。講習終了後に資格試験があるということもあってか(!?)、参加者はみな真剣に受講していました。

私個人の話ですがお客様から4K8Kを導入したいが配線などをどこまで変えなければいけないのか？などと相談されることが多く、メーカーのホームページなどとにらめっこして何とか回答していました。そのため、ちゃんと勉強したいなと感じているところでしたので非常に良い機会となりました。

今後も様々な講習会や研修事業を青年部で積極的に開催していけたら良いなと、強く感じる活動でした。



組合イントラネット(サイボウズ)ご利用のご案内

新潟県電気工事工業組合では、組合イントラネット(サイボウズ)を通じ、組合員・青年部会員の皆様に、組合や行政・関係団体からの様々な情報を発信しています。

まだ、ご利用されていない組合員・青年部会員の方は是非ご利用ください。

組合イントラネット(サイボウズ)へのログイン方法は所属支部にお問い合わせください。

【組合イントラネット(サイボウズ) トップ画面】



サイボウズの機能

- ・メッセージや掲示板による組合員向けの各種情報提供
- ・文書ファイルの共有(モデル就業規則、サイボウズ操作マニュアル等)
- ・スケジュール管理、共有 等

LEDリニューアルが、 経営に効いた。

コスト回収、約3年*

蛍光灯と比べて最大約59%の省エネ※大幅なコスト削減に。

職種・用途にフィット

約8,000種のラインアップ。「1台・1列から」調光も可能。

業務を止めずに導入

無線調光タイプは、信号線の工事が不要で短工期・省施工。

iDシリーズ

一体型LEDベースライト

Panasonic LED パナソニックは2019年3月31日に蛍光灯器具を生産終了いたしました。

※従来蛍光灯器具FSA4200IF VPN9とiDシリーズ40形5200lmタイプ(直付XLX450DHNTLE9)との比較。新電力料金目安単価25円/kWh(税抜)[家電公正取引協議会が発出した「新電力料金目安単価27円/kWh(税込/一般家庭用)」から消費税相当額8%を抜いた金額で算出。]年間点灯時間3000時間。従来蛍光灯器具の交換費用(器具代・ランプ代)含む。

A Better Life, A Better World パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社 新潟電材営業所 〒950-2031 新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL.025-260-7711

■ 第二種電気工事士免状をお持ちの方へ

認定電気工事従事者取得のご案内

【認定電気工事従事者】認定証の交付を受けるには

経済産業局長に申請しなくてはなりません。

■ 申請条件：

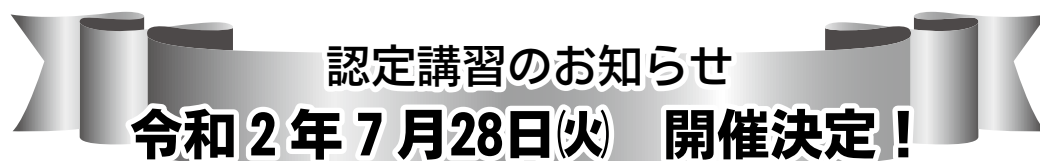
- ① 第一種電気工事士試験合格者
- ② 第二種電気工事士免状取得後、
3年以上の実務経験を有する者 または
(財)電気工事技術講習センターが行う認定電気工事従事者認定講習の課程を修了した者
- ③ 電気主任技術者免状取得後、電気工作物の工事、維持もしくは運用に関する
実務経験が 3 年以上ある者

■ 申請場所：申請者の住所を管轄する 経済産業省 産業保安監督部

新潟県に現住所のある方は

⇒ 関東東北産業保安監督部電力安全課

〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-2-23 仙台第2合同庁舎 TEL：022-221-4948



認定電気工事従事者は第二種電気工事士免状取得後3年以上の実務経験があれば、その実務経験の証明を添えて申請することで資格を取得できます。しかし、

3年の実務経験がなくとも『認定講習』を受講し、受講修了証等を添えて申請すれば
認定電気工事従事者の 資格を取得できます。

認定電気工事従事者認定講習は、毎年新潟県で開催するとは限りません。令和2年度上期に新潟で開催が決定しました。是非この機会に講習会を受講して資格取得・従事できる工事の範囲を広げて下さい。

※申込期間：2年下旬～3月中旬頃の予定

受講希望の方は、

- ・講習開催HP → <http://www.eei.or.jp/approval/> よりお申し込みください。 →
- ・ご不明な点は新潟県電気工事工業組合 講習担当 TEL：025-229-1587 まで



令和2年度 消防関係試験実施計画

1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
R 2. 6. 6(土)	R 2. 4. 14(火) ～ 4. 28(火)	R 2. 4. 17(金) ～ 5. 1(金)	甲 種 乙種第1～6類 丙 種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 佐渡市
9. 6(日)	7. 17(金) ～ 7. 31(金)	7. 20(月) ～ 8. 3(月)	甲 種 乙種第1～6類 丙 種	新潟市 長岡市 上越市 三条市
11. 21(土)	10. 9(金) ～ 10. 23(金)	10. 12(月) ～ 10. 26(月)	甲 種 乙種第1～6類 丙 種	新潟市 長岡市 上越市
R 3. 3. 6(土)	R 3. 1. 5(火) ～ 1. 22(金)	R 3. 1. 8(金) ～ 1. 25(月)	甲 種 乙種第1～6類 丙 種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
R 2. 6. 27(土)	R 2. 5. 12(火) ～ 5. 26(火)	R 2. 5. 15(金) ～ 5. 29(金)	甲 種 第1～5類 乙 種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
10. 11(日)	8. 18(火) ～ 9. 4(金)	8. 21(金) ～ 9. 7(月)	甲 種 特 類 甲 種 第1～5類 乙 種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
R 3. 3. 14(日)	R 3. 1. 5(火) ～ 1. 22(金)	R 3. 1. 8(金) ～ 1. 25(月)	甲 種 第1～5類 乙 種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。
 ※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

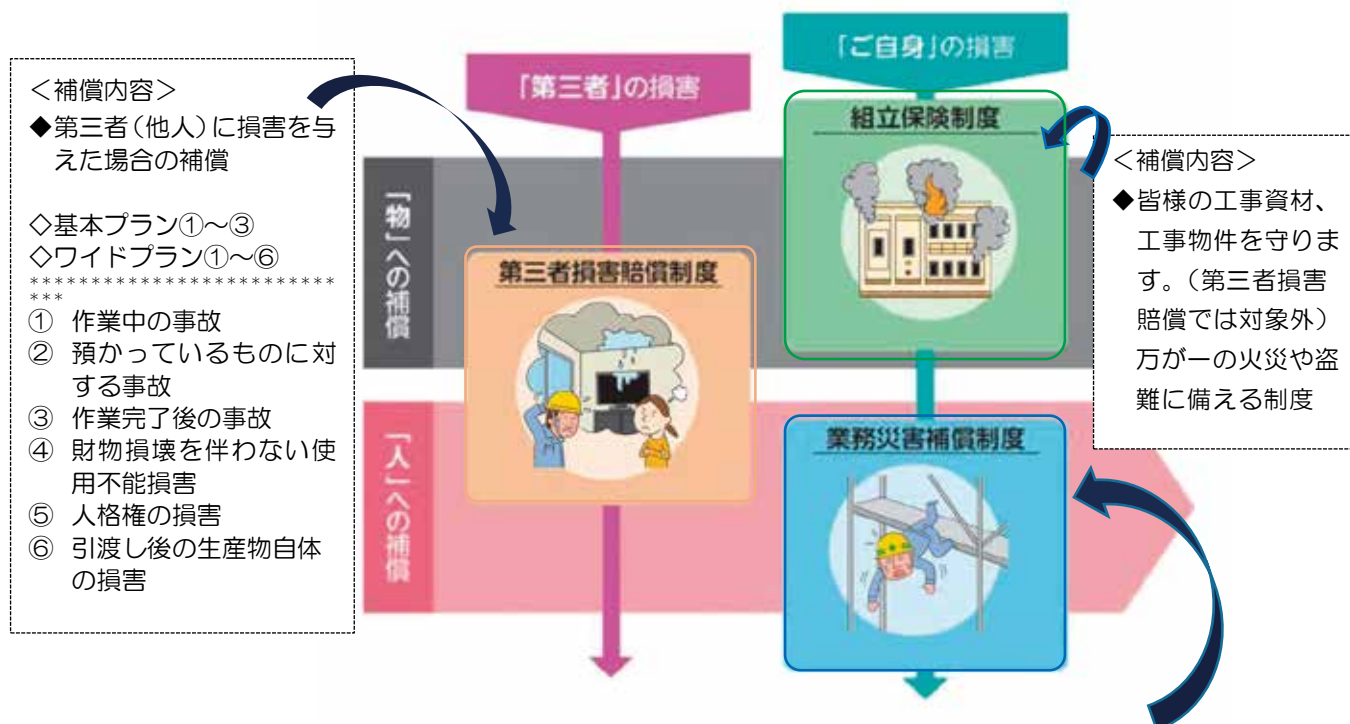
T E L 025-285-7774 F A X 025-211-7011 <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

※各種保険のお手続きをご案内しております。

2020年4月1日からの保険制度

全日電工連 認定損害保険制度

電気工事に伴う様々なリスクに備える



<補償内容>

◆第三者(他人)に損害を与えた場合の補償

◇基本プラン①～③
◇ワイドプラン①～⑥

- ① 作業中の事故
- ② 預かっているものに対する事故
- ③ 作業完了後の事故
- ④ 財物損壊を伴わない使用不能損害
- ⑤ 人格権の損害
- ⑥ 引渡し後の生産物自体の損害

<補償内容>

◆皆様の工事資材、工事物件を守ります。(第三者損害賠償では対象外) 万が一の火災や盗難に備える制度

<補償内容>

◆業務上および通勤時の偶然な事故によりケガなどを被った場合の補償。

政府労災の上乗せ

(政府労災の認定不要)

使用者賠償責任補償の付帯可

～改定！～

- ① 役員・個人事業主・家族従事者コースのシンプル化
「天災補償」・「24 時間補償」を標準化。
- ② 加入者専用サービス
『こころとからだのホットライン』



※各種保険制度の詳細については、パンフレット等でご確認ください。

2020 年 4 月 1 日からの保険制度

全日電工連認定 生活総合保険制度

①個人賠償責任補償、②所得補償、③介護補償、④がん補償

2022年夏

全日電工連認定 生活総合保険制度のご案内

（任意加入・任意加入型）

もう既に、生命保険や医療保険に入っている。

働いている方への一助のことがある場合に、他の保険（保険）に上乗せで、手厚く保障できるように保険料を「同額」支払います。仕事場のみなさんにも、ご案内ください。

そんな方に
“特に” おすすめです！



個人賠償責任補償



所得補償



介護補償



がん補償

「4つの補償」が あなたと、ご家族の生活を守ります。

（4つの補償は、それぞれの保険でも
ご加入いただけます。）

「仕事場生活総合保険」で加入した生活総合保険（任意加入型）と任意加入型（任意加入型）

●保険期間：2026年4月1日付まで有効（※2021年4月1日付まで有効です）

●保険料は任意です。一時的に収入が減少するなどの場合に、任意で加入することができます。

●保険内容について

①「任意で加入した生活総合保険」で、任意で加入した生活総合保険（任意加入型）と任意加入型（任意加入型）の保険料を「同額」支払います。仕事場のみなさんにも、ご案内ください。

②「任意で加入した生活総合保険」で、任意で加入した生活総合保険（任意加入型）と任意加入型（任意加入型）の保険料を「同額」支払います。仕事場のみなさんにも、ご案内ください。

③「任意で加入した生活総合保険」で、任意で加入した生活総合保険（任意加入型）と任意加入型（任意加入型）の保険料を「同額」支払います。仕事場のみなさんにも、ご案内ください。

自動更新になりました！

全日本電気工事工業連合会生活総合保険

（任意加入型・任意加入型）

全日電工連認定の、安心・おトクな4つの補償です。

全日電工連では、さまざまな生活のニーズから、組合員様まで幅広くお申し込みし、おがめとめるための生活保障制度を開発いたしました。全日電工連ならではの生活保障の補償により、特別な負担に欠けるの補償を実現しています。ご家族の皆さまにも加入いただけるおトクな補償制度です。

〔全日電工連認定 生活総合保障制度の特長〕

①

誰でも補償!

ご家族の皆さま、ご自分
一人でもご加入いただけます。

②

家族も加入できます!*

ご家族一同、おトクな保障も
ご加入いただけます。

③

税金がおトク!

生活費控除制度が適用されます。
※一定の条件を満たす場合に限ります。

④

会社の福利厚生制度として!

会社員の方々の企業一社一社様からご加入を推進し、
会社員の方々の生活に役立つサービスを提供しています。
※一定の条件を満たす場合に限ります。

*生活費控除制度が適用される
ご家族の皆さまは、ご加入の
条件を満たす必要があります。

「4つの補償」の大きなメリットは・・・

個人賠償責任補償

- 役員、常任取締役の方には本人様、ご加入できます。
- ご家族の個人で加入できる家賃保証(バーサス)です。
- 支払上限額1億円(無制限)、月額1万円です。
- ご加入の方の事故、引致、訴訟費用は原則として東京電力が負担いたします。

●保険料は
1か月あたり約142円

所得補償

- 役員、正副取締役の方には本人様、ご加入できます。
- 一定の条件に準拠してご加入いただけます。
- 万一の事故などの場合によりお預けになった場合に1口あたり110万円が補償されます。

●保険料は30歳未満の方で
1か月あたり約1,170円
30歳以上64歳未満の方で1口あたり
1か月あたり約3,075円

介護補償

- ご本人様ご加入の場合、配偶者様や親類のご家族まで加入できます。
- 一定の条件に準拠してご加入いただけます。
- 介護費用の一部が加入できますので、負担な保険料が軽減されます。
- 介護費引当り金をお預けいただけます。
- 一時金などの様々な用途にご利用いただけます。

●保険料は30歳の方で
1か月あたり約11円
30歳以上64歳の方で
1か月あたり約740円

がん補償

- ご本人様ご加入の場合、配偶者様や親類のご家族まで加入できます。
- 一定の条件に準拠してご加入いただけます。
- がん治療の一部が加入できますので、負担な保険料が軽減されます。
- 高度医療などの特典金も支払われます。
- 一時金などの様々な用途にご利用いただけます。

●保険料は30歳の方で
1か月あたり約160円
30歳以上64歳の方で
1か月あたり約173円

※30歳未満の方

2020年3月1日からの保険制度

全日電工連 グループ共済制度

- ・24時間(業務中・業務外)、不慮の事故による入院(5日以上)、障害、死亡の保障。また、病気による死亡、高度障害の保障。
- ・毎年、剰余金が牛じた場合、配当金のお支払い。(中途脱退は対象外)

【2020年度後援団員募集】 **全日電工連の生命保険** (災害保障特約付 団体定期保険)

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連 グループ共済制度のご案内

経営者おすすめコースを新設!!

お手続きはこれまで通りの告知で加入・増口できます

60歳までの方はい

3000万円

2500万円

新設

61歳〜70歳の方は

2000万円

まで引き上げ

①営業上の災害(火災・暴風等)による被害・②転倒・交通事故等による被害・③急病・急死による被害
 ④自然災害による被害・⑤盗難による被害

各保険金額ごとの参加金は、パンフレットP2をご覧ください。

新加入・増口
可能年齢

15歳〜70歳

継続加入年齢

80歳まで

70歳を超えても、
就業開始中なら
80歳まで継続加入
できます。
(100歳限)

全日本2万以上の組合事業所に、安心をのぞける、スクールメリットを達した、福利厚生制度です!



最低 1 万円
最高 1 万円以上

24時間保障!

いずれの場合も死亡保険金が支払われます

※加入・増口は2020年12月31日迄の期間です。加入・増口は告知を必要とし、加入・増口料は、加入・増口料の表を参照してください。

加入した40歳男性は、
月々360円で
101100万円の
保障を受け
いただけます!

△ 知っておきたい重要事項です。

本共済制度は、原則として2020年12月31日迄の期間で加入・増口可能。加入・増口料は告知を必要とし、加入・増口料の表を参照してください。また、加入・増口料は、加入・増口料の表を参照してください。また、加入・増口料は、加入・増口料の表を参照してください。

全日本電気工業事業組合連合会

2020年制度改定

全日電工連グループ共済制度

(全日電工連の生命保険・災害保険特約付 団体定期保険)

経営者おすすめコースを新設!!します

お手置きはこれまで通りの告知で加入・増口できます

50歳までの方は

3000万円 **2500万円** **新設**

61歳〜70歳の方は

2000万円 まで引き上げ

経営者おすすめコース

経営者おすすめコースは、大企業会社、従業員、お取引先、ご家族等も必ず、必要保障額に合致します。

毎年度必要分を前払 **①事業継続保障** + **②収入に連動した保障** + **③お葬儀** です。

事業継続保障

収入に連動した保障

お葬儀

①事業継続保障 (ご事業継続保障) + ②収入に連動した保障 (以下各年別上限・2万円付)

③お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

④収入に連動した保障 (収入入会・葬儀付・生活安定保障の備え)

⑤お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑥お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑦お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑧お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑨お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑩お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑪お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑫お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑬お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑭お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑮お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑯お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑰お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑱お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑲お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

⑳お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉑お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉒お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉓お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉔お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉕お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉖お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉗お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉘お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉙お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉚お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉛お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉜お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉝お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉞お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㉟お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊱お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊲お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊳お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊴お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊵お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊶お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊷お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊸お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊹お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊺お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊻お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊼お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊽お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊾お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

㊿お葬儀 (ご葬儀) (ご葬儀の継続、火葬・土葬の費用の備え)

組 合 員 の 異 動

令和元年12月理事会報告分

日 付		支 部	
R2.3.31	脱 退	新 潟	(有)双葉電気工業
R2.3.31	脱 退	新発田	田村電気
R2.3.31	脱 退	三 条	須田電気
R2.3.31	脱 退	燕	仁箇電建(株)巻営業所
R2.3.31	脱 退	燕	(有)能登電気商会
R2.3.31	脱 退	燕	丸山電業

組 合 員 の 変 更

令和元年10月～12月組合受付分

支 部	事 務 所	変更箇所	変 更 前	変 更 後
新 潟	(株)小 林 電 気 工 事	T E L	0 2 5 - 2 7 5 - 8 7 3 0	0 2 5 - 2 8 8 - 6 1 1 8
		F A X	0 2 5 - 2 7 5 - 8 7 3 0	0 2 5 - 2 8 8 - 6 1 1 8
	(株)HEXEL Works 新潟支店	商 号	六興電気(株)新潟支店	(株)HEXEL Works 新潟支店
新発田	飯 豊 電 設 工 業 (株)	代表者	桑 野 博	桑 野 孝 章
	福 西 電 気 商 会	代表者	福 西 隆 雄	福 西 雄 介
三 条	本 間 電 機 工 業 (株)	代表者	本 間 好 夫	本 間 隼 人
	(株) 山 田 電 気	代表者	山 田 幸 恵	菊 池 浩 樹
	ユ ニ オ ン 電 設 (株)	代表者	大 原 義 弘	須 藤 隆 夫
燕	(株) 佐 藤 電 気	商 号	佐 藤 電 気	(株) 佐 藤 電 気
長 岡	ト ウ ヨ ウ (株)	代表者	水 澤 隆 彦	田 中 正 樹
	力 工 電 機 (株)	住 所	長 岡 市 寿 2-5-14	長 岡 市 寿 1-6-13
		T E L	0 2 5 8 - 2 4 - 1 6 3 8	0 2 5 8 - 8 6 - 8 1 9 7
	(株) 良 電 社	代表者	坂 内 隆	坂 内 隆 徳
上 越	(株)大久保電機商会	商 号	(資)大久保電機商会	(株)大久保電機商会
	(株)金井電気商会	代表者	金 井 稔	岡 本 忠 幸
魚 沼	加 藤 電 気 工 事 店	代表者	加 藤 松 治	加 藤 裕 介
	加 藤 電 設	代表者	加 藤 機	加 藤 和 宏
十日町	(株)庭野電機商会	住 所	十日町市高山630-2	十日町市高田町6丁目630-2

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創



健康管理
明日の笑顔が
そこにある

《安全標語》 村上支部 (有)高野電気商会 高野 英一

新潟県電気工事工業組合